

組織部・活動方針（案）

組織部長	国本雄一郎
組織部付	渡辺 正重
〃	大倉 清行
〃	谷本 舞

《活動目標》

1. 入会増加の促進取り組みの強化を！！

平成26年度の千葉県聴覚障害者協会の会員人数は491名（12月末現在）。平成25年度から会費の値上げ（11,000円→15,000円）した影響により、入会の拡大を目指した取り組みについては依然厳しい状況が続いている。その対策として新規会員の開拓、26年度の会員継続への働きかけなどの取り組みに課題が残されている。平成24年度の最高の会員数（607名）と比べると、80%となっている。

しかし、100%以上を保っている協会が、34協会のうち10協会もあり、他市協会も頑張れる可能性はあると信じたい。

また、全日本ろうあ連盟より課されているノルマは、障害者手帳所有者の10%を基準（県で1,220人）としている。これらを踏まえ、平成27年度は、これまでの会員を維持しつつ新入会員による拡大を目指し、そのノルマに少しでも近づけるよう、各市への働きかけに取り組みたい。

また、各市の引きこもりなどひとりぼっちでいる聴覚障害者の掘り起こしにも努めていきたい。県の隅々まで行き渡る聴覚障害者への支援活動やそのための健全な運営には人材面や財政面からも、今年度の活動方針の主な内容を次の通りとしたい。

○各専門部や各支部との連携による協力体制の構築

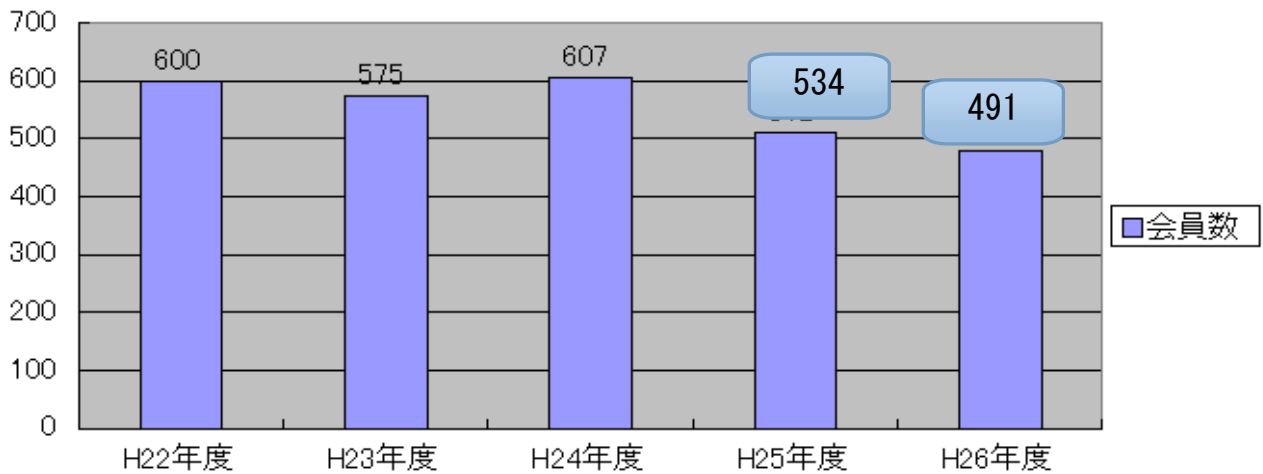
（会員になっていない方々の把握により、その方々の活動参加を促すことが出来る企画作りを各専門部や各支部へすすめていく）

○地域協会のイベントに出向いて説明する活動

○会費納付の方法として分割払いの検討

○みみしお、チラシ、事務局ニュース、ホームページ等による会員入会の呼びかけ

県協会会員数



2. 日聴新聞とMIMI購読者の達成率、70%以上をめざそう！！

日聴新聞の購読者数について、全日本ろうあ連盟から出された目標数（1,105部）への達成率は向上しているが、100%達成へはかなり厳しい状況にあることに変わりはない。

また、「季刊MIMI」については、目標553部に対して購読数が74人と達成率が13.3%で25位と昨年度よりは上がっているものの、依然厳しい状態である。

当事者である聴覚障害者に、一般の新聞紙には掲載されていない、ろう者に関わる情報をいち早く知ることができる日聴紙の重要性を啓蒙していく取り組みを図りたい。

○活動運営委員、支部役員の率先購入の働きかけ

○地域協会役員への啓蒙活動

○一般会員にも普及の働きかけ

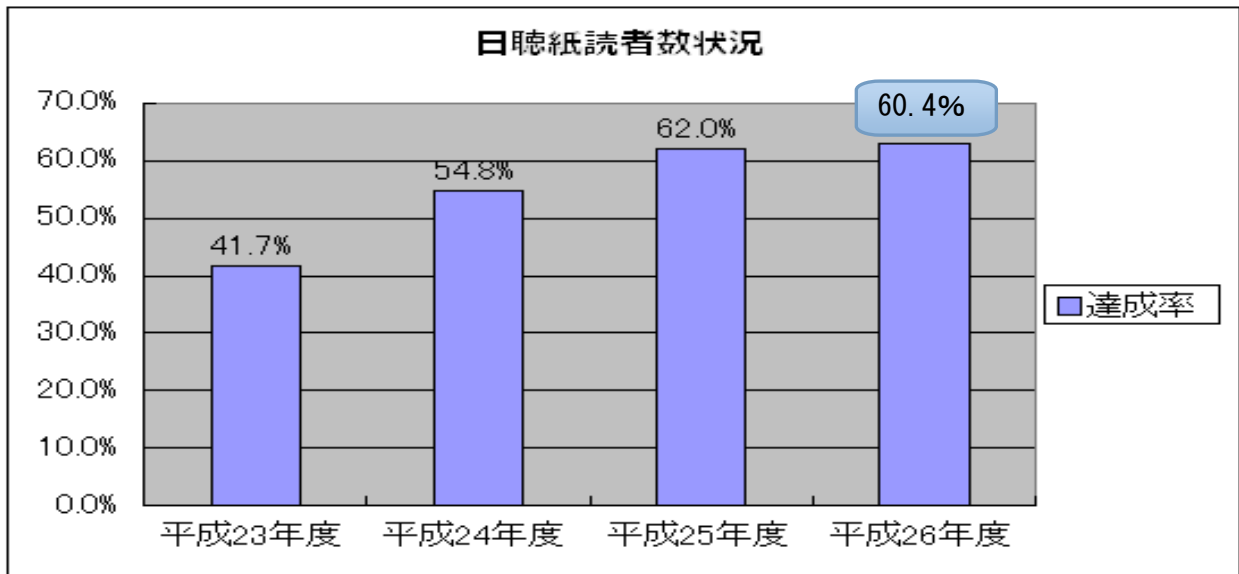
○ミニ講演講師の養成

○支部長懇談会で必要意識を強めるような情報交換の実施

☆ご参考（平成26年12月現在）

・日聴新聞購読者：667名（千葉県のみ）60.4%（19位）

・MIMI購読者：74名（千葉県のみ）13.4%（44位）



3. 他県聴覚障害者関係施設の視察旅行

千葉県聴覚障害者協会は、一つの法人の中にセンター事業と会員事業が一緒になって両車輪のごとく運営しているのが特徴です。この組織の明確な理解によって、スムーズな運動が進められることを目的として、他県聴覚障害者関係施設の視察旅行の計画を企画部と取り組みます。

《事業計画》

1. なるほど研修会 ※7月に実施予定

- ・各市協会の更なる発展に少しでも結びつく様に、各市協会の役員を対象に、全日本ろうあ連盟の副理事長の長谷川芳弘氏を講師として招き、「会員拡大」をテーマにした講演会を行ないたい。
- ・全日本ろうあ連盟評議会の報告会

2. 支部長懇談会 ※11月に実施予定

- ・支部長同士で課題を共有し、解決方法を協議する。

3. 他県聴覚障害者関係施設などの視察旅行（未定）

4. イベント（企画部と）（未定）